保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006 ●携帯・IP・公衆電話から 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00 ※日曜・祝日及び年末年始は除きます

03-2036A

AudioComm®

取扱説明書

コンパクト クロックスピーカー

型番:ASP-BT360N

このたびは、
AudioComm® コンパクト クロックスピーカーを
お買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項……1
安全上のご注意 …… 1〜5
Bluetooth機器との接続可能範囲について ……6
Bluetooth機器使用に関する注意事項 …… 6〜7
各部の名称…… 8〜9
時計バックアップ用乾電池の装着方法 ……9
電源接続のしかた …… 10
電源のオン／オフ …… 10
現在時刻の設定方法…… 11
FMラジオを聴く …… 12〜14
Bluetoothで音楽・音声を楽しむ …… 15〜17
外部機器と接続し、スピーカーとして使うときは…… 17
アラーム …… 18〜19
スリープ …… 20
スマートフォンを充電するときは …… 20
お手入れのしかた …… 21
故障かなと思ったら …… 21
主な仕様…… 22
保証書とアフターサービスについて …… 裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は「感電注意」が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （左図の場合は「分解禁止」が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 （左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。）

⚠ 警告

コンセントから抜く

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜く

- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

万一、内部に異物や水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜く

- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ●販売店にご連絡ください。

次ページに続く 2

⚠警告

分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプター、コードに触れない** ●感電のおそれがあります。
修理を依頼	**ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。
	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。
	本製品を使用するときは必ず付属のACアダプターを使う。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しない ●付属のACアダプターは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
	ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
	本機やACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	ACアダプターのコードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
	浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。

⚠注意

濡れ手禁止	**濡れた手でACアダプターを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。
極性に注意	**時計バックアップ用乾電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる** ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
音量は小さく	**電源を入れた後、音楽などを再生する前には、音量を抑える** ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く** ●火災・液もれの原因となることがあります。
	お手入れの際や移動させるときはACアダプターをコンセントから抜く ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
掃除をする	**ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。
禁止	**ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずアダプター本体を持って抜いてください。
	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	ACアダプターのコードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

次ページに続く 4

⚠注意

禁止

ほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

指定以外の乾電池は使わない
●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電磁波を発生させる機器(テレビ、モニター等)に近づけない
●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

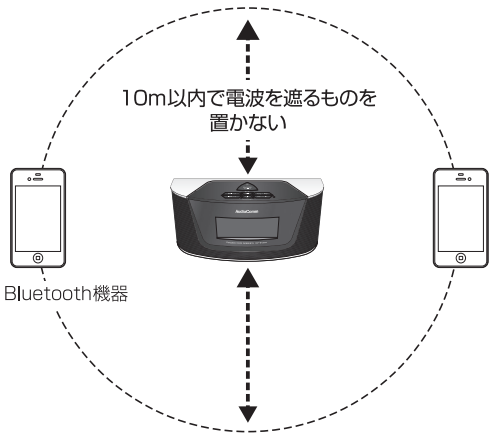
警告
- ●火中への投入、加熱、分解をしない
- ●乾電池を幼児に触らせない
- ●ショートさせない
- ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない

注意
- ●⊕⊖の表示通りに入れる
- ●指定以外の乾電池を使わない
- ●使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
●万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

Bluetooth 機器との接続可能範囲について

●本機とBluetooth機器(携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)との間で、電波を受信できる範囲は最大で約10mです(理論規格値であり、通信を保証するものではありません)。
●10m以内であっても、遮蔽物などがある場合や電波を発する他の機器がある場合は、正常に受信できないことがあります。再生音が乱れる場合はそれらの遮蔽物などを取り除いてください。
●本機を使うには、相手側のBluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、送信側の仕様により使えない機能がある場合があります。



Bluetooth 機器使用に関する注意事項

●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
●自動車やエレベーターなど自動制御機器に影響が出る場合は、ただちに使用を中止してください。
●本機は、市販のBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

次ページに続く

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。

●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。

●医療機関内では次のことを守ってください。

・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
・病棟内では本機を使わない。
・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。

●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

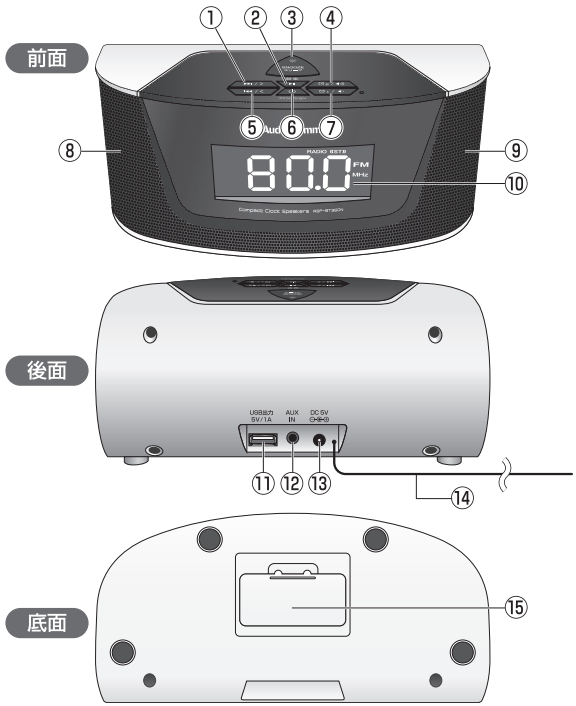
Bluetoothの影響について

●本機が使用する周波数(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が適用されています。

●本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

●万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか速やかに電源を切り、使用を中止してください。

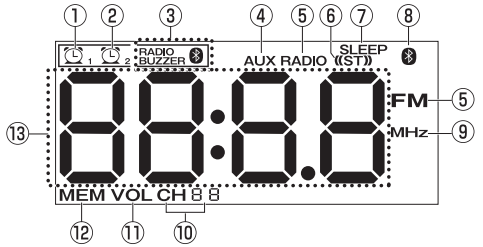
各部の名称



①スキップ／選局ボタン（⏭）
②再生／一時停止／設定ボタン
③スヌーズ／スリープ／照度ボタン
④音量（＋）／アラーム 2 ボタン
⑤スキップ／選局ボタン（⏮）
⑥電源／ファンクションボタン
⑦音量（－）／アラーム 1 ボタン
⑧左スピーカー
⑨右スピーカー
⑩ディスプレイ
⑪USB 出力端子（スマートフォンへの充電専用）
⑫AUX IN（外部音声入力）端子
⑬DC IN 端子
⑭FM ワイヤーアンテナ
⑮電池ぶた

次ページに続く 8

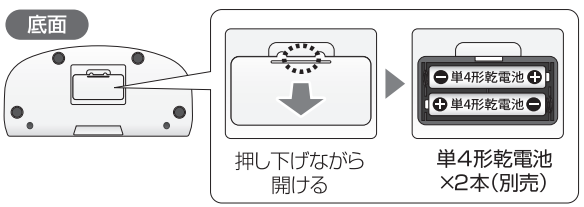
ディスプレイ表示



①アラーム 1 マーク
②アラーム 2 マーク
③アラーム音表示
④ファンクション表示（AUX）
⑤ファンクション表示(FM ラジオ)
⑥ステレオ受信マーク
⑦スリープマーク
⑧ファンクション（Bluetooth）
⑨周波数単位
⑩メモリー番号表示
⑪音量マーク
⑫メモリーマーク
⑬周波数／時刻／音量表示エリア

時計バックアップ用乾電池の装着方法

1. 電池ぶたの部を押し下げながら、電池ぶたを開けます。
2. 単4形乾電池2本(別売)を、本体記載図柄を参照し、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。
3. 乾電池を入れ終えたら、電池ぶたを元通りにしっかりと閉めます。



ご注意

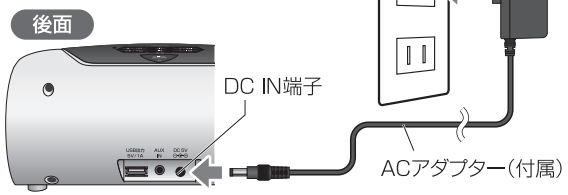
- ●時計バックアップ用乾電池だけでは、時刻表示を含めて本機は動作しません。必ずACアダプター(付属)を使って、家庭用コンセントに接続してください。
- ●時計バックアップ用乾電池が装着されていない場合、ACアダプターからの電力が絶たれると、再接続時に時計表示がリセットされ、時刻を設定し直す必要があります。
- ●乾電池は、種類の異なるものや、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。液もれの原因になり、本機が故障するおそれがあります。

電源接続のしかた

付属のACアダプターで本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続してください。

●本機を使用しないときは電源プラグをコンセントから外してください。

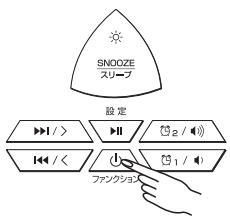
家庭用コンセントへ差し込む AC100V(50/60Hz)



ご注意

付属のACアダプターは本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

電源のオン／オフ



●電源／ファンクションボタンを押すと電源が入り、ファンクションが立ち上がります。

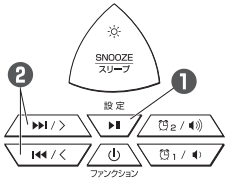
●電源が入っているときに、電源／ファンクションボタンを**長押し**すると、電源が切れ、現在時刻表示(スタンバイモード)になります。

FMラジオの表示例　Bluetoothの表示例(現在時刻表示になります)　AUXの表示例(現在時刻表示になります)

ヒント　ディマー(明るさ調整)について

スヌーズ／スリープ／照度ボタンを短く押すと、ディスプレイの明るさを調節できます。同ボタンを押すたびに、3段階で明るさが変化します。

現在時刻の設定方法



電源が入っているときは、電源／ファンクションボタンを長押しして、電源を切ってから操作してください。

1 再生／一時停止／設定ボタンを押します。
時刻表示が点滅します。

2 スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を使って「時」と「分」を設定します。
- ●スキップ／選局ボタン(⏭)
  ……「分」の設定
- ●スキップ／選局ボタン(⏮)
  ……「時」の設定

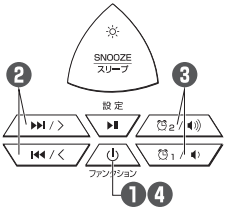
※ボタンを長押しすると、時刻が早く進みます。

3 そのまま約5秒間経つと点滅が止まり、設定が確定します。

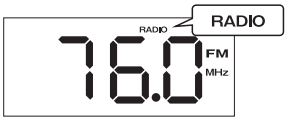
ご注意

何も操作しない時間が約5秒間続くと、設定が確定し点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。

FMラジオを聴く ※AMラジオの受信はできません。

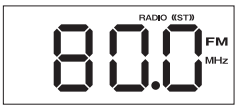


1 電源／ファンクションボタンを押して電源を入れ、さらに数回押して、RADIOを選びます。



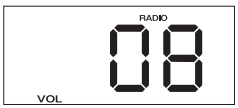
押すたびに、AUX(外部音声入力)→Bluetooth→RADIOと切り換わります。

2 スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を押して、お聴きになりたい周波数に合わせます。
- ●FMステレオ放送を良好な状態で受信すると、FMステレオ受信マーク(《ST》)が表示されます。



- ●スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を長押しすると自動メモリー登録が始まります(P.13参照)。

3 音量(+)／アラーム2ボタン、または音量(−)／アラーム1ボタンで音量を調節します。
- ●0〜32の間で調節できます。
- ●音量レベルは約5秒間表示されます。
- ●音量の上げすぎに十分ご注意ください。

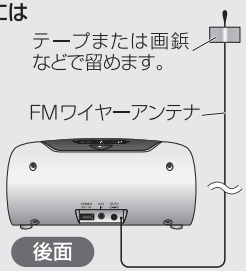


4 終了するときは、電源／ファンクションボタンを長押しして電源を切ります。
- ●現在時刻表示(スタンバイモード)に戻ります。

ヒント **受信状態をよくするには**

本体背面にあるFMワイヤーアンテナを伸ばし、最も良く聴こえる場所にテープまたは画鋲などを使って軽く留めます。

※移動させるときは、引っかかったり、本機との接合部が破損しないよう、FMワイヤーアンテナを壁などから外してください。



次ページに続く

手動メモリー登録と自動メモリー登録

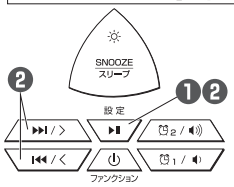
よく聴く放送局をメモリー登録しておくと、簡単に呼び出すことができます。登録のしかたは手動と自動の2つの方法があります。

●**手動メモリー登録**…よく聴く放送局を手動で登録します。

●**自動メモリー登録(ATS)**…受信可能な放送局を一括でスキャニングし、自動登録します。

※手動と自動を合わせて、最大20局まで登録できます。

手動メモリー登録のしかた

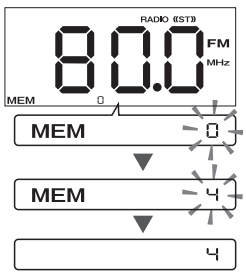


❶ 登録したい放送局を受信中に、再生／一時停止／設定ボタンを長押しします。

●「MEM」が表示され、「0」が点滅します。

❷ スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を押してメモリー番号を選び、再生／一時停止／設定ボタンを押します。

●登録が確定します。

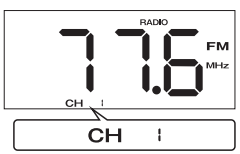


自動メモリー登録のしかた

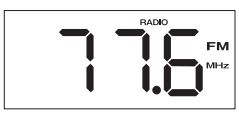
ディスプレイ下部にメモリー番号が表示されていない状態で、スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を長押しします。

●「CH」と「0」が表示されると同時に周波数が送られ、受信可能な放送局を自動登録していきます(最大20局)。

●登録が終わると、最初に登録された放送局を受信します。

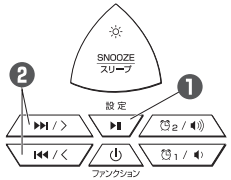


受信可能な放送局が見つかるたびに、メモリー番号が増えていきます。



スキャニング終了時は、メモリー番号は表示されず、通常の受信モードに戻ります。

メモリー登録した放送局を聴くには



❶ ※「CH」やメモリー番号が表示されていない場合のみ

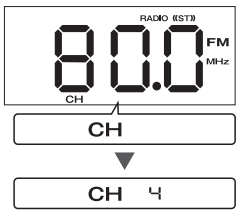
再生／一時停止／設定ボタンを押します。

●「CH」が表示されます。

❷ スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を押すと、メモリー番号が表示されるので、さらに同ボタンを数回押して、お聴きになりたい放送局のメモリー番号に合わせてください。

●「CH」とメモリー番号を表示中は、スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を押すたびに前後のメモリー登録局に移動します。

●「CH」が表示されている間(約5秒以内)に操作してください。



ヒント　周波数での選局方法に戻るには

●メモリー選局時にボタン操作をしない状態が約5秒間続くと、「CH」が消え、メモリー番号のみの表示になります。その後、スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を押すと、周波数による選局が可能になります。

●もう一度メモリー選局に戻るには、再生／一時停止／設定ボタンを押し、「CH」が表示された後に操作してください。

ご注意

手動と自動のメモリー番号は共通です。そのため、手動メモリー登録後に自動メモリー登録を行うと、登録内容が上書きされますのでご注意ください。また、自動メモリー登録後に手動メモリー登録を行った場合も、選んだメモリー番号の内容が上書きされます。

Bluetooth で音楽・音声を楽しむ

本機では、離れた場所にあるBluetooth対応機器（タブレット端末や携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応音楽プレーヤーなど：以下、相手側機器と言います）の音楽・音声をワイヤレスで聴くことができます。Bluetoothを使うには、はじめにペアリング（本機を相手側機器に登録すること）を行う必要があります。

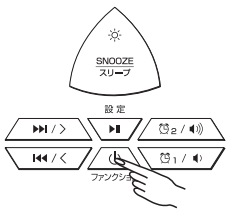
ペアリングのしかた

❶ ペアリングしたい相手側機器を本機と1m以内の場所に置き、Bluetooth機能を有効にします。

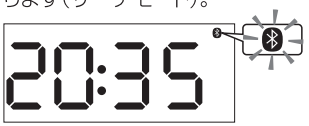
右下図はBluetoothを設定するためのスマートフォンのメニュー例です。お使いのBluetooth機器またはソフトウェアのバージョンによって表示が異なります。詳しい操作方法はご使用の機種に付属する取扱説明書をご確認ください。

iPhone	設定
Android	設定
Windows mobile	設定
NTT docomo	LifeKit
SoftBank	設定
au	Bluetooth

❷ 本機の電源／ファンクションボタンを押して電源を入れ、さらに同ボタンを数回押して、Bluetooth（ᛒ）を選びます。



Bluetoothマークが点滅し、相手側機器を探している状態になります（サーチモード）。



❸ 相手側機器で、ペアリング操作を行ってください。

- 本機名「ASP-BT360N」が相手側機器で表示されたら、それを選択して登録します。正しく接続されるとᛒの点滅が点灯に変わります。
- 機種によっては、パスキーやPINコードの入力を求められる場合があります。その場合はいずれも「0000」と入力してください（詳細はBluetooth機器に付属する取扱説明書をご参照ください）。
- プロファイルの選択が必要な場合は、A2DP、AVRCPを選んでください。
- 2回目以降に電源を入れてBluetoothを選んだときは、前回最後に使用していた相手側機器に自動接続します。

ご注意

- 相手側機器が他の機器とBluetooth通信を行っているときは／本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との通信を中止したうえでペアリングを行ってください。
- ペアリング済みにもかかわらず、自動接続されないときは／
  - 電源／ファンクションボタンを押して、他のファンクションに移行し、再度Bluetoothを選んでください。
  - それでも解決しないときは、いったん電源をオフにした後、再度電源を入れて、接続操作をしてください。
  - 相手側機器付属の取扱説明書も参照しながら必要に応じて接続操作を行ってください。
- Bluetooth機能を使用中（音楽再生時など）に、再生／一時停止／設定ボタンを長押しすると、接続が解除され、サーチモードになります。

再生するときは

❶ Bluetooth機器側で再生などの操作をしてください。また、本機でも以下の操作が可能です。

ボタン	機　能
再生／一時停止／設定ボタン	再生⇆一時停止 ※長押しすると、接続を解除し、サーチモードへ
スキップ／選局ボタン（▶▶I）	次の曲へスキップ
スキップ／選局ボタン（I◀◀）	一つ前の曲へスキップ
音量（+）／アラーム2ボタン 音量（−）／アラーム1ボタン	音量を調節（「ご注意」参照）

❷ 終了するときは電源／ファンクションボタンを長押しします。必要に応じて、Bluetooth機器側の電源も切ってください。

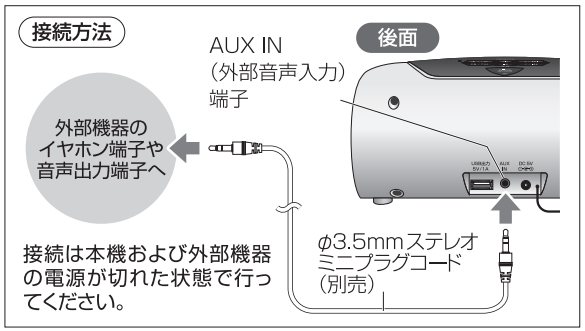
ご注意

- 音量の上げすぎにご注意ください。
- 音量調節は相手側機器と本機のどちらでも可能ですが、相手側機器の音量を小さくして、本機の設定を大きくしていた場合、別のファンクションに移行したときに思わぬ大音量になるおそれがあります。できるだけ本機の音量設定を一定に保つなど、十分にご注意ください。

次ページに続く

外部機器と接続し、スピーカーとして使うときは

φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)を使って携帯音楽プレーヤーやMDプレーヤーなどと接続し、外部機器の音楽・音声を本機で楽しむことができます。



❶ 本機の電源／ファンクションボタンを押して電源を入れ、さらに同ボタンを数回押して、AUXを選びます。

❷ 外部機器側で再生などの操作をします。

❸ 終了するときは電源／ファンクションボタンを長押しします。
外部機器の電源も切った後で接続を解除してください。

ご注意

- 音量調節は外部機器と本機のどちらでも可能ですが、外部機器の音量を小さくして、本機の設定を大きくしていた場合、別のファンクションに移行したときに思わぬ大音量になるおそれがあります。できるだけ本機の音量設定を一定に保つなど、十分にご注意ください。

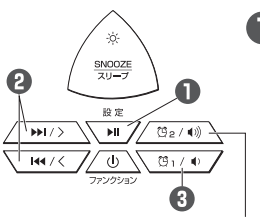
アラーム

- 本機のアラームは、アラーム１とアラーム２の２種類を設定でき、使い分けることができます。
- アラーム音はFMラジオ、Bluetooth、またはブザー音から選べます。

ご注意 設定を始める前に

- 電源オフ(スタンバイモード)の状態で操作してください。
- ここではアラーム１の設定方法を説明しますが、アラーム２の設定も基本的には同じです。アラーム２を設定する場合、ボタン名称などを以下の通り読みかえて、操作してください。
  ・音量(−)／アラーム１ボタン→音量(+)／アラーム２ボタン
  ・アラーム１マーク→アラーム２マーク
- 何も操作しない時間が約５秒間続くと、設定が確定し点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。
- アラーム音にBluetooth機器を選ぶ場合、事前にペアリングが完了している必要があります(P.15〜16参照)。
- アラーム音量の調節はできません。

アラーム設定のしかた



※アラーム２を設定するときは音量（−）／アラーム１ボタンの代わりに音量（+）／アラーム２ボタンを操作

❶ 再生／一時停止／設定ボタンを２回押します。
アラーム１マークが点滅します。
※アラーム2に設定するときは、同ボタンを3回押してください。

❷ スキップ／選局ボタン(⏭／⏮)を使って「時」と「分」を設定します。
- ●スキップ／選局ボタン(⏭)
  ……「分」の設定
- ●スキップ／選局ボタン(⏮)
  ……「時」の設定

※ボタンを長押しすると、時刻が早く進みます。

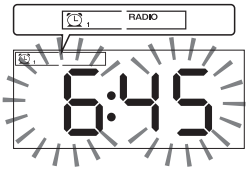
次ページに続く

❸ 音量(−)／アラーム1ボタンを数回押してアラーム音を選びます。

●ボタンを押すたびに、ブザー音(BUZZER)→Bluetooth(ᛒ)→FMラジオ(RADIO)→表示なし(アラーム解除)と設定表示が変化します。

●選択後、そのまま約5秒経つと、設定が確定し現在時刻表示に戻ります(表示なしを選んだ場合は、アラーム1マークが消えます)。

●アラーム設定が有効なときは、アラーム1マークが表示されます。



アラームが鳴ったら

●電源／ファンクションボタンを押すとアラーム音が止まります。

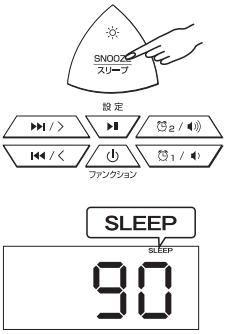
●アラーム1マークがディスプレイに表示されているときは、翌日の同時刻に再びアラームが起動します。解除する場合は、以下の「アラーム設定を解除するには」を参照してください。

●**スヌーズ機能**…アラーム音が鳴っているときにスヌーズ／スリープ／照度ボタンを押すと、一時的にアラーム音が止まり、約8分後に再度起動します。

アラーム設定を解除するには

「アラーム設定のしかた」のステップ❶のあとに❸へ進み、アラーム音の設定を表示なしにしてください。そのまま約5秒経つと、現在時刻表示に戻り、アラーム1マークが消えます。

スリープ



❶ 電源オン時に、スヌーズ／スリープ／照度ボタンを長押しします。
ディスプレイに「SLEEP」と「90」が表示されます。

❷ スヌーズ／スリープ／照度ボタンをさらに数回押して、電源オフまでの時間を選びます。
90分〜00(スリープ解除)まで、10分ごとに設定できます。

❸ そのまま約5秒経つと、設定が確定し、元の表示に戻ります。

ヒント

●電源オフ時にスリープ設定を行った場合、次に電源を入れた際にスリープ設定が有効になります(スリープマークが表示された状態で電源が入ります)。

●スリープ設定が有効時にスヌーズ／スリープ・照度ボタンを長押しすると、電源オフまでの残り時間を約5秒間表示します。

●スリープ設定を解除するには、電源を切るか、設定時間を「00」にしてください。

スマートフォンを充電するときは

ご注意

本機のUSB出力端子は、スマートフォン充電専用です。

●音楽再生機器などをUSB出力端子に接続しないでください。本機、接続機器が故障したり、データの破損するおそれがあります。

●スマートフォンの機種によっては、仕様上充電できない場合があります(本機のUSB出力端子は、5V 1Aです)。

お手入れのしかた

表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後で乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- ●ACアダプターが本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。

音が出ない

- ●電源が入っていますか。
- ●ファンクションが正しく選ばれていますか。
- ●音量が最小になっていませんか。
- ●(Bluetooth接続時)ペアリングは正しく行いましたか。
- ●(Bluetooth接続時)Bluetooth機器の設定は正しくなされていますか。
- ●(Bluetooth接続時)Bluetooth機器とのペアリングまたは接続が解除されていませんか。
- ●(Bluetooth接続時)Bluetooth機器側の音量が最小または消音になっていませんか。

Bluetooth接続時に音が途切れる

- ●本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。
- ●本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。
- ●周囲で無線LAN機器や電子レンジ等の電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。
- ●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。

ラジオ時に雑音が入る

- ●近くで携帯電話を使用していませんか(本機から携帯電話を離してご使用ください)。

※Bluetooth 接続時に不具合が起きた場合、本機以外に相手側機器側に原因があることも考えられます。Bluetooth 機器を単独で使用したときに同様の症状が出るかどうかもご確認ください。

主な仕様

Bluetooth部

適合規格	Bluetooth Ver. 3.0 + EDR
伝送方式	FHSS
周波数範囲	2.400GHz～2.480GHz
通信距離	最大約10m(理論値：使用環境により異なります)
送信出力	Class2
対応プロファイル	A2DP、AVRCP(SCMS-T対応)
対応機種	●Bluetoothに対応したタブレット端末、携帯電話、スマートフォン、パソコン、デジタルオーディオなど ●市販のBluetooth対応アダプターを接続してBluetooth機能を有したパソコン、デジタルオーディオなど ※本機はすべてのBluetooth機器に対する動作を保証するものではありません。

本体部

電源	AC100V(50/60Hz) 専用ACアダプター付属(DC5V 2.0A)
	時計バックアップ用乾電池： DC3V　単4形乾電池×2個(別売)
定格消費電力	9W
実用最大出力	3W+3W (r.m.s)
スピーカー	口径50mmフルレンジスピーカー×2
インピーダンス	4Ω
ラジオ周波数	FM 76.0～108.0MHz(100kHzステップ ワイヤーアンテナ)
入力端子	AUX IN(外部音声入力)端子(φ3.5mmステレオミニプラグ)
出力端子	USB端子(5V 1A　スマートフォン充電専用)
時計誤差	月差±60秒以下
外形寸法	幅200×高さ95×奥行85mm(突起物含まず)
質量	約661g(乾電池含まず)
付属品	専用ACアダプター、取扱説明書、保証書

※Bluetooth 及び Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG,Inc. の商標で、オーム電機はライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されている商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

※ 本製品は、特定無線設備として日本国電波法第 38 条の 24 第 1 項の規定に基づく認証を受けております。